

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第2委員会室
			担当職員 池永
日 時	平成29年9月19日(火曜日)	開 議	午前 11時 38 分
		閉 議	午前 11時 58 分
出席委員	◎奥村、○石野、並河、藤本、木曾、西口、湊議長（欠席：明田委員）		
出席理事者			
出席事務局	片岡局長、池永主任		
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 1 : 3 8

1 開議

2 事務事業評価選定事業の論点整理

[事務局説明]

事務事業評価は、事業の目的や手法、成果、コスト、方向性を視点として評価を行うものである。実際の評価では、限られた時間の中で説明・質疑、その後の委員間での議論を通じて評価結果をまとめるということから、時間上の制約もあるため、議論の焦点とすべきことを事前に整理しておく必要がある。当日、論点に沿った質疑、適切な評価ができるよう、これより論点整理を行っていただきたい。

（１）農業事務経費

<奥村委員長>

あれだけの公園に年間600万円の支出は、他の運動公園と比べて突出している。実際に必要なかを聞きたい。当初、農業公園はパンジー等いろいろな花を植えており、山々を背景にしてすばらしい景観であったが、その後、そういう植栽も一部しか行われていない。市民農園等に行っているようであるが、そういう植栽をして初めて600万円の値打ちがあったのではないか。そういうことができていないので聞いてみたい。適正な管理がどこまで行われたかを論点にしたい。

<木曾委員>

お金は後で議論すればよい話だが、事業内容を詳しく聞きたい。農業公社でどのような事業を行ったのか。公園の整備について、以前は植栽もしていたが、最近は何もないがどうかという内容でよいのではないか。

<奥村委員長>

金額と、どのようなことを行ったかを整理してはどうか。

<木曾委員>

農業公社が指定管理をしていたが、こういうところに指定管理するのが良いのか悪いのか、例えばシルバー人材センターで良いのか悪いのかを含めて、議論していく時期に来ているのではないか。

<奥村委員長>

そのような論点とする。

（２）商工業振興対策経費

（３）観光推進経費

<奥村委員長>

どちらも事業が多い。今回は１点の事業に絞らず、商工業振興対策経費・観光推進経費としての事務事業評価をするということであったので、各自で認識願う。今回、経費としての調書は１枚提出していただいている。各事業については、事務事業評価論点整理資料に一覧で掲載している。説明については、通常決算と同様、決算審査の資料に基づいてすべての事業を説明いただき、決算審査と同じように質問する感じでどうか。本来は経費の中にたくさんある事業のうちの１つを評価するが、今回は経費全体を評価するということである。説明や質疑の時間配分は少しずつくるが、そのようにしてはどうか。

<木曾委員>

どちらも京都府や国の補助金がある。その内訳をまず言ってもらい、市単費がどれだけ入って、その結果がどのようになっているのか整理した方がよいのではないか。

<奥村委員長>

事務事業評価のルールとして、該当部分は通常決算審査での説明がないことになる。従って、一応すべて説明いただくが、決算額について、国・府・市単費いくらという一覧表を資料請求することによってどうか。

<木曾委員>

それがわかりやすい。

<奥村委員長>

その中で、できるだけ市単費や、市単費が多い部分について質問することにしてはどうか。論点は、①補助金が適正に支出されているか②成果・事業効果はどうだったかとする。できるだけ市単費の部分を重点的に質問いただくが、通常決算審査では説明がないので、説明されていない部分について質疑することは差し支えない。

<西口委員>

基本的に市単費のものを重点に確認していくのがよいと考える。

<奥村委員長>

論点は補助金の適正支出、成果・事業効果についてとし、市単費や市単費の多い部分について質疑し、その結果を問うということによってよい。（了）

３ その他

（１）審査日程

[事務局 決算審査日程説明]（了）

<奥村委員長>

その他、事務局から連絡事項はあるか。

<事務局主任>

地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金の資料を配付した。明日からの決算審査に持参願う。また、決算カードも配付している。暫定値ではあるが、決算審査の参考にされたい。なお、明日１０時からの決算全体会には、提出予定議案の概要を持参願う。

～散会 １１：５８